

いつも何度でも

「千と千尋の神隠し」のED

よ 呼んでいる 胸のどこか奥で  
いつも心 踊る 夢を見たい

よ 呼ぶ to call out.

かな 悲しみは 数え切れないけれど  
その向こうできっと 貴方に会える

かな 悲しみ sadness. 数え切れない countless.  
向こう other side.

く 繰り返す 過ちの その度 人は  
ただ青い空の 青さを知る  
果てしなく 道は続いて見えるけれど  
この両手は 光を抱ける

く 繰り返す to repeat. 過ち fault. その度 each time.  
は 果てしなく eternally.  
いだ 抱く to embrace; to hug.

さよならのときの 静かな胸  
ゼロになる体が 耳をすませる

す 済む vi. to finish.

い 生きている 不思議 死んでいく 不思議  
花も風も街も みんな同じ

よ 呼んでいる 胸のどこか奥で  
いつも何度でも 夢を描こう

えが 描く to draw.

かな 悲しみの数を 言い尽くすより  
同じくちびるで そっと歌おう

い 言い尽くす to tell all.  
くちびる 唇 lips.

と 閉じていく 思い出の そのなかにいつも  
忘れたくない ささやきを聞く  
こなごなに砕かれた 鏡の上にも  
新しい景色が 映される

と 閉じる vi. to close. 思い出 memories.  
ささや 囁き whisper.  
こなごな くだ 粉々に砕く to smash into pieces.  
うつ 映す vt. to reflect.

はじ 始まるの朝の 静かな窓  
ゼロになる体 満たされてゆけ

み 満たす vt. to satisfy; to fill.

うみ 海の彼方には もう探さない

かがや  
輝くものはいつもここに  
わたし  
私のなかに 見つけられたから

かがや  
輝く to shine.